

新原海軍炭鉱の創業記念碑

海軍炭鉱・国鉄炭鉱の遺跡群 (2)

炭山トシテ斯界ノ発展ヲ助長シ、且ハ附近町村文化ノ啓発進展ニ寄与スル所大ナリトシ、其恵沢ヲ後昆ニ顕彰スルタメ、創業記念碑建立ノ議成リ、碑文ヲ余ニ要ム。依テ以テ誌之ト爾ニ云。

昭和十二年十二月十二日

海軍主計少将正五位勲三等 金谷 隆一

右 昭和十三戌寅年十一月二十日竣工

建設委員長 萩尾善次郎

台座 発起人

須恵村長 田原 篤

宇美町長 武内 謙介

志免村長 丸山喜三郎

仲原村長 藤野 又次

博多湾鉄道

株式会社 岸田恒太郎

博多湾運輸

株式会社 近藤 徳寿

株式会社 原田伊兵衛

須恵村 安河内藤太

同 小林 啓邦

宇美町 内田 玄英

同 萩尾善次郎

採炭部

ことがわかります。明治二十二年（一八八九）の創業から五〇年に当たる、昭和十三年（一八三三）に建設されました。

● 表 海軍炭礦創業記念碑

海軍大将 米内光政書

裏

明治維新ノ大業成リ、帝国海軍ノ基礎確立スルヤ、政府ハ海軍用石炭ノ採掘自営ヲ計リ、広ク全国各地ヲ調査ノ結果、明治二十二年此地ヲトシテ、新原採炭所ヲ創設ス。是即チ我採炭部ノ濫觴ナリ。爾來將二五十年。其間、日清日露ノ二大戦役ヲ経テ、今次ノ支那事变ニ及ヒ、或ハ艦船ノ行動ニ、或ハ兵器機関ノ製作ニ、海軍用炭ノ策源地トシテ貢献勲カラス。而シテ業ニ当ルヤ、協力一致、採炭報国ヲ綱領トナシ、国運ノ伸張ト共ニ躍進又躍進、当初八年産僅ニ数万噸ニ過キサリシモ、今ヤ六十萬噸ヲ超ユルニ至ル。今昔衡較スルニ転感慨ニ堪ヘス。此時ニ当リ近郷ノ有志相図リ、創業以來当部ノ国家ニ致セル功績ヲ讃ヘ、又唯一ノ官營

● 表 海軍炭礦創業記念碑

在茲苑内

左 紳士淑女柱駕

裏 昭和十三戌寅年秋十一月

さて、新原公園に入ると、真正面に鋭く天を衝く記念碑があります。これがメインの「海軍炭礦創業記念碑」です。表の字は海軍大将米内光政（一八八〇—一九四八）。戦前、首相・海軍大臣・聯合艦隊司令長官などを歴任した人物。

裏の碑面は読みにくいので、句読点を付けておきました。台座から地元須恵村・宇美町・志免村・仲原村（現粕屋町）の首長が発起人に入っている



海軍炭礦創業記念碑の裏面